

平成24年第1回定例会（3月）一般質問

（4）歴史遺産を活かした観光振興について

○ 議員 宮下裕美子 次の質問に移ります。歴史的遺産を活かした観光振興について、このテーマに対して様々な場面で質問を重ねてきました。特に平成23年9月定例会で商工費、樺戸博物館改修工事3,000万円の減額修正をしたときに説明していますが、それ以降折に触れ町民皆さんの意見を私なりに聞いてきました。その範囲で改修前の状態でも十分見るものも多くて改修する必要を感じないという方がいる。立派な施設だからもっと見てもらえる工夫が必要であるという意見が多くて、歴史遺産を活かした観光振興というイメージが持てない町民が多くいたと思っています。歴史遺産を活かした観光振興に対するこれまでの町長の発言ですが、23年12月の一般質問の答弁では「平成22年は開町130年、23年は地域創造フォーラムと第1部としての事業展開が終わった。今後は第2部としてより一層歴史伝承会特別展、博物館リニューアルを含めて歴史展開していく。」とっています。また今回の町政執行方針では「本町の特異な歴史の紹介も含め、月形樺戸博物館をはじめとする歴史的文化遺産を活かした観光振興も推進してまいります。」と書かれています。振興というのは産業を盛んにすることですので、歴史遺産を活かした観光振興ということは歴史遺産を題材にして観光産業を盛んにすることということで、歴史遺産で人を呼び込む。経済を活性化するということです。歴史を掘り起こしただけでは観光振興にならないので、経済活動につなげる手だてが必要であると考えています。そこで質問いたします。補正予算3,000万円をかけて樺戸博物館がリニューアルして実際に投資されましたが、それを踏まえた上で平成24年度以降の歴史遺産を活かした観光振興がどのように展開されて行くのか。具体的な観光振興の展開とその先にある歴史遺産を活かしたまちづくりの将来像について、お伺いいたします。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 最初に観光振興についてですが、観光振興というのは流入人口として私たちの町に来てくれる人たちを増やすこと。お金を使っていただくことが観光として振興していくことと考えておりました。今年につきましては温泉施設を含めた指定管理者が完全な民間になってまいります。民間企業と博物館を連携したかたちで事業展開ができないかという提案については、今もうしているところであります。今年からかつてはやっていましたが小・中・高校生の授業学習における入館については無料化をします。これは町がやります。町内はすでにやっていますから町外については無料化していくかたちで、私

たちの町に来てくれて歴史を学んだ人たちがもう一度来たいという思いで、お父さん、お母さんを連れてきてもらえるようなことになればいいと考えておりますので、これについては早速その取り決めをして行きたいと考えております。

もう一点、このことについては、浦臼町長と私の個人的なお話の中にありました。個人的な話ですからこれが施策としてしっかりできるとまで明言できませんが、中空知地区においては数町村が社会福祉施設・社会教育施設については、町民価格で利用できるという広域の利用方法をやりましょうという協定を結びました。その中で岸町長は「月形町うちとでやりませんか。」というお話をいただきました。「私たちの町と浦臼町で何ができますか。」と質問したら「博物館についてはそのようなかたちでできるのではないか。」ということでした。浦臼町は無料であります。月形町は大人300円の入館料を取っているのが現実ですから、これについては早速すり合わせをしながらやって行きたいと思ったところであります。これは宮下議員の以前から楠議員の時からの私が話しているところですが、江別市、当別町そして月形町、浦臼町、新十津川町この275号線を中心としたそれぞれ博物館、郷土資料館を持っています。これらが連携していったときに歴史街道という位置づけで展開できないだろうかということのを頭の中にずっと描いております。そのようなことで札幌開発建設部には一度シーニックバイウェイの中で歴史街道ということをしてエリア選定してもらえないかというお話をしておりました。ただシーニックバイウェイの中でやっていくとしたら民間団体の人たちがしっかりその町に根付いて活動していないとエリアとして開発局が応援していくというエリア選定指定をできないということでしたが、将来的にはそのようなかたちで歴史街道としての認識、立ち上げができないかということを検討しているところです。これは現在も進んでいることですが、美唄、月形、浦臼という状況の中で、広域観光ということで実際に試験的に動いております。これにつきましては美唄市の宮嶋沼に来た人たちが月形町の博物館を見てその後浦臼町の神内ファームに行くという観光コースですが、募集したらすぐに満杯になるという状況でもあります。もっと広域的なかたちで美唄市にも郷土資料館があります。三笠市にはうちの町と同じような集治監の資料も展示する場所もあります。それが地域連携していくことが大事であると思っておりますし、その中でお互いに町民、市民がそれぞれの資料館、博物館を行き来していくことが私の目指す博物館としての構想であります。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 今の町長の答弁で本年度の事業展開が分かりましたが、一つ気になったのが事業展開はいいとして、様々な無料化や料金の低減化等も含めて行う施策が中心だったと思います。観光振興をした場合勿論流入人口を増やすのは重要ですが、その後経

済として月形町でお金を落とすなど廻っていくシステムを作って行かなければ観光振興として成立しないと考えています。例えばどこかの施設が入場無料になった場合はそこにお土産がたくさん置いてある。その後の施設の割引券があってより一層違う所に誘導していくというような様々な施策で、どこかを無料にしてもどこかで収入を上げて経済を活性化する仕組みを作って初めてそれらが展開していくと思いますが、今回、先ほどの答弁の中ではどちらかというとはずは人を呼ぶということに主を置いていてその後の振興策にはつながっていなかったと思いますが、それについてもう少し事業の展開を説明していただきたいと思えます。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 現在、博物館の出口で生鮮食料品を売るというわけには行かないと考えております。私たちの町には知的障害者施設がパンを作る。納豆を作る。これは本当に私たちの町が誇れるブランドに成りつつある食料品であると思っております。これらが味を知っていただき買っていただくということが、この展開でできたらいいと考えています。先ほども申しあげました指定管理者新しく民間が入ってくる状況で、民間の意見を入れていくことも、これはまさしくお金を使っていただくという部分で観光振興につながると考えております。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 今の部分に関しては、より一層、施策として展開するようお願いしたいということ。別の視点ですが先ほど町長が言われた観光振興の多くが町外の人を対象にして様々な取り組みがなされて行きますが、最初の質問の前段で言ったように町民の皆さんが月形町の歴史遺産を観光資源としてあまり認識していない。その部分の展開が弱いのではないかと考えます。逆に言えば町民一人ひとりがセールスマンで、町民の所にお客さんが来た時に榎戸博物館に来ていただく。町民自身が歴史に対して誇りを持ってPRすることで次の観光につながることも十分考えられますので、町民向けの観光策についてはどんな展開があるか、お伺いします。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 町内町民の皆さんにとっては観光ということではないと思えます。郷土を愛するという意味で郷土を学び取る施設として大事であると考えております。グリーンツーリズムで本州から来た高校生に対してかなりの受け入れ農家の人たちが博物館に案内するというので、しっかりそのことが根付いてきていると感じているところであります。故郷を愛していく。博物館を愛していくことはもっと違う観点でしっかり考えて行かなければならないと考えております。私たちの町にここ数年展開してきた成田智志さん「監

獄ベースボール 知られざる北の野球史」小説家であります。この人は全道各地の講演で北海道の集治監が開拓に役立てた道路開拓の話随分色々な所で講演してくれているところでもあります。昨年地域創造フォーラムで記念講演をやってくださいました童門冬二先生は昨年暮れフォーラムのお礼に伺ったときに、フォーラムのことなのか、樺戸集治監のことなのか、月形の歴史のことなのか分かりませんが、今いつという約束はできないけれど、しっかり書かせてもらおうと約束いただいたところでもあります。現在、九州の佐々木博子さんという作家がいます。この方は月形 潔と同じ同郷であります。今小説作品を作成中であります。月形ぐらい小説の主題になった町というのはないですし、このことも含めてしっかり町民の皆様がそれら文章も含めて私たちの町を好きになってもらえる先人に感謝してもらえるとという意味で博物館の位置づけについては私もしっかりやって行きたいと思っております。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 町民に向けた展開についてお伺いしたので勿論その中でグリーンツーリズム等色々と展開があると思いますが、執行方針でも歴史遺産を活かしたところについては、観光振興についてしか触れられていなかったもので、先ほどの町長の答弁だと博物館を愛する観点で観光振興とは別の展開をして行きたいと言いましたが、執行方針では観光展開して行きたいという明記しかなかったもので、最後の質問になります。町民に対してその部分では先ほど違う観点でと言ったので、どのように歴史遺産の部分を展開して行くのか、お伺いしたいと思います。

○ 議長 笹木 英二 町民に広く話をしなさいということですか。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 町民を対象にした歴史遺産の部分については認識が町民の方は常勢されていなくて、先ほど色々なお話を展開されたのはどちらかというと町外の方向けに発信。町外の方が月形町を評価して下さる。どちらかといえばそれが主に進んでいます。町民が十分この町を愛して歴史を認識しなければ観光振興も行かないし、勿論愛着も沸かないので、そこの部分はどのような展開になるのかということです。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 先日の一般質問でも私と宮下議員の感覚の違いが出ていましたが、物故者追悼式についても昨年、一昨年と160名、170名という皆さんに参加いただきました。そのうち町民の数は100名を超えております。そんな意味でこの2年間町民に対してもしっかりとそのPRはしてきたつもりであります。それぞれ歴史伝承会についてもやってきましたが、残念ながら月形町の皆さん「そんなこと俺たちは知っている。」という感覚があ

ると思います。博物館にリピータとして月形町民が入ってくれないということがあると思います。一度行ったからいいというものではなく私は町長になってから毎年有料で5回は行っております。それほど資料として大切なものであると思っています。宮下議員は毎年何回行かれているのでしょうか。その中で何が足りなかった。何がいけないという感覚を持っておられるのでしょうか。そのようなものがあればお聞かせ願いたいと思います。

○ 議長 笹木 英二 4回目になりますが、まだ質問することがありますか。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 答えていいのでしょうか。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 逆に私が質問したので。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 ここはどのように対応したらいいのでしょうか。

○ 議長 笹木 英二 時間で決まりですから。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 これで終わりにしていいのですね。